

# あなたの帰宅ルートマップの作成手引き

## 《帰宅ルートマップを作る目的》

大学にいる間に地震が発生した場合に、あなたは自宅に帰ることができますか？ 一般的に自宅から 20km 以上離れている場所で被災した場合、帰宅困難者になります。武蔵野大学には首都圏各地から学生が通学してきており、多くの学生が帰宅困難者となることが予想されます。交通機関の運行状況などによっては歩いて帰らざるを得ない場合もあり、また、距離によっては 1 日では帰れないこともあります。そこで、事前に各自の帰宅ルートや道路の状況、宿泊場所などを把握するために『帰宅ルートマップ』を作成します。

2 枚目に用意した地図に、自分の帰宅ルートと宿泊場所を考えて、実際に歩く際の参考にしてください。

## 《ルートの決め方》

次のような内容に気をつけて帰宅ルートを決定します。

- ・内閣府による首都圏都市直下地震が発生した場合の帰宅行動シミュレーション結果から都心では満員電車状態の場所を通って帰らざるを得ない人が約 475 万人発生すると見込まれています。そこで、できるだけ都心を避けたルートを選ぶ
- ・大きな街道などは道路標識や看板があるので帰宅方面がわかりやすい
- ・大きな川を渡る場合、橋によってルートが決まるのでどの橋を渡るかがルートを決めるポイントになる
- ・宿泊場所や休憩場所を予め考えておく
- ・わかりやすく馴染みのあるルートを選ぶ

## 《長く歩くときの注意》

休憩場所を予め考えておくことが重要です。水やトイレがある公園もあれば、多くのベンチが並んでいるのみの休憩所もあります。しかしベンチが多いといっても災害時には思い通りに使えるとは限りません。

夏の日中は特に水分を補給しましょう。冬は日が短いので歩ける時間が限られます。また、雨の日は傘で視界が制限されたり、歩道橋や道が滑りやすく危険です。

次のページに、武蔵野大学から 4 方面の帰宅ルートの例と道の様子を記します。

# 埼玉県春日部市方面



④歩道橋  
横断歩道がない  
上は高速道路



⑦都民ゴルフ場  
学校 19.8km 地点の避難所

⑥ガラス  
大きな通りに特に多い  
ガラスのショールーム

⑧材木  
固定されているが倒  
れてきたら危険

# 千葉県松戸市方面



# 千葉県浦安市方面

⑬高層ビル  
都心部はオフィス街で街全体が危険



⑭橋  
渡る橋によってルートが決まる

# 東京湾

# 神奈川県横浜市方面

⑩公衆電話  
電話ボックス以外もお店やコ  
ンビニなどにもある

⑤埼玉スタジアム  
学校から 34.15km 地  
点の避難所



③赤羽桜堤緑地  
学校から 17.6km 地  
点の避難所



②狭い道  
工事中で歩道が整備さ  
れていない



①木陰  
歩道が木陰  
なので歩き  
やすい



⑨砧公園  
学校から 13.4km 地点  
の避難所



⑪歩道橋  
横断歩道がない所が第二  
京浜には3箇所ある



**共通事項**  
どのルートも、塀やガラスなど危険箇所は1kmあたりに1箇所以上必ずある。トイレは1kmあたりに1箇所以上あるところはほぼない。

**大きな道路沿い**  
日光街道や環八通り、第二京浜など大きな通りはガラス張りのショールームが特に多い。また、道路には横断歩道がない場所がある。

**住宅街**  
塀の危険が特に多い。団地に公園が隣接していることが多く、安全要素として活用できる。

**都心部**  
人が多いためコンビニは多いが、オフィス街という立地条件上、他地域に比べるとガソリンスタンドが少ない。